**平成 22 年七戸町議会第 1 回定例会
会議録（第 5 号）**

平成 22 年 3 月 12 日（金） 午前 10 時 00 分 開議

○議事日程

日程第 1	議案第 20 号	七戸町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
日程第 2	議案第 21 号	七戸町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
日程第 3	議案第 22 号	七戸町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
日程第 4	議案第 23 号	七戸町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について
日程第 5	議案第 24 号	七戸町消防団条例の一部を改正する条例について
日程第 6	議案第 25 号	七戸町営住宅条例の一部を改正する条例について
日程第 7	議案第 26 号	七戸町教職員住宅使用及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
日程第 8	議案第 27 号	七戸町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の一部を改正する条例について
日程第 9	議案第 28 号	七戸町立図書館協議会設置条例の一部を改正する条例について
日程第 10	議案第 29 号	七戸町観光交流センター条例の制定について
日程第 11	議案第 30 号	七戸町文化村設置条例の一部を改正する条例について
日程第 12	議案第 31 号	七戸町公の施設における指定管理者の指定について
日程第 13	議案第 32 号	七戸町公の施設における指定管理者の指定について
日程第 14	議案第 33 号	町道路線の認定について
日程第 15	議案第 34 号	負担付き寄付の受け入れについて
日程第 16	議案第 35 号	上十三地域広域市町村圏協議会の廃止について
日程第 17	議案第 36 号	小川原湖広域水道企業団の解散について
日程第 18	議案第 37 号	小川原湖広域水道企業団の解散に伴う財産処分について
日程第 19	議案第 1 号	平成 21 年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第 5 号）
日程第 20	議案第 2 号	平成 21 年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）
日程第 21	議案第 3 号	平成 21 年度七戸町老人保健特別会計補正予算（第 3 号）
日程第 22	議案第 4 号	平成 21 年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第

- 3号)
- 日程第23 議案第 5号 平成21年度七戸町介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 日程第24 議案第 6号 平成21年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)
- 日程第25 議案第 7号 平成21年度七戸町七戸霊園事業特別会計補正予算(第2号)
- 日程第26 議案第 8号 平成21年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- 日程第27 議案第 9号 平成21年度七戸町水道事業会計補正予算(第4号)
- 日程第28 予算審査特別委員会審査報告
議案第10号	平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計予算
議案第11号	平成22年度七戸町国民健康保険特別会計予算
議案第12号	平成22年度七戸町老人保健特別会計予算
議案第13号	平成22年度七戸町後期高齢者医療特別会計予算
議案第14号	平成22年度七戸町介護保険特別会計予算
議案第15号	平成22年度七戸町介護サービス事業特別会計予算
議案第16号	平成22年度七戸町七戸霊園事業特別会計予算
議案第17号	平成22年度七戸町公共下水道事業特別会計予算
議案第18号	平成22年度七戸町農業集落排水事業特別会計予算
議案第19号	平成22年度七戸町水道事業会計予算
- 日程第29 議案第38号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 日程第30 報告第 1号 平成22年度七戸町土地開発公社予算について
- 日程第31 陳情第 5号 法務局職員の増員に関する陳情書
- 日程第32 発議第 1号 行政サービス向上のため法務局職員の増員を求める意見書
- 日程第33 発議第 2号 七戸町議会委員会条例の一部を改正する条例について

○本日の会議に付した事件

- 日程第 1 議案第20号 七戸町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 2 議案第21号 七戸町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 3 議案第22号 七戸町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第 4 議案第23号 七戸町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 5 議案第24号 七戸町消防団条例の一部を改正する条例について

- 日程第 6 議案第 25 号 七戸町営住宅条例の一部を改正する条例について
- 日程第 7 議案第 26 号 七戸町教職員住宅使用及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 8 議案第 27 号 七戸町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の一部を改正する条例について
- 日程第 9 議案第 28 号 七戸町立図書館協議会設置条例の一部を改正する条例について
- 日程第 10 議案第 29 号 七戸町観光交流センター条例の制定について
- 日程第 11 議案第 30 号 七戸町文化村設置条例の一部を改正する条例について
- 日程第 12 議案第 31 号 七戸町公の施設における指定管理者の指定について
- 日程第 13 議案第 32 号 七戸町公の施設における指定管理者の指定について
- 日程第 14 議案第 33 号 町道路線の認定について
- 日程第 15 議案第 34 号 負担付き寄付の受け入れについて
- 日程第 16 議案第 35 号 上十三地域広域市町村圏協議会の廃止について
- 日程第 17 議案第 36 号 小川原湖広域水道企業団の解散について
- 日程第 18 議案第 37 号 小川原湖広域水道企業団の解散に伴う財産処分について
- 日程第 19 議案第 1 号 平成 21 年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第 5 号）
- 日程第 20 議案第 2 号 平成 21 年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）
- 日程第 21 議案第 3 号 平成 21 年度七戸町老人保健特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第 22 議案第 4 号 平成 21 年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第 23 議案第 5 号 平成 21 年度七戸町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）
- 日程第 24 議案第 6 号 平成 21 年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第 25 議案第 7 号 平成 21 年度七戸町七戸霊園事業特別会計補正予算（第 2 号）
- 日程第 26 議案第 8 号 平成 21 年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）
- 日程第 27 議案第 9 号 平成 21 年度七戸町水道事業会計補正予算（第 4 号）
- 日程第 28 予算審査特別委員会審査報告
- 議案第 10 号 平成 22 年度青森県上北郡七戸町一般会計予算
- 議案第 11 号 平成 22 年度七戸町国民健康保険特別会計予算
- 議案第 12 号 平成 22 年度七戸町老人保健特別会計予算
- 議案第 13 号 平成 22 年度七戸町後期高齢者医療特別会計予算

議案第14号	平成22年度七戸町介護保険特別会計予算
議案第15号	平成22年度七戸町介護サービス事業特別会計予算
議案第16号	平成22年度七戸町七戸霊園事業特別会計予算
議案第17号	平成22年度七戸町公共下水道事業特別会計予算
議案第18号	平成22年度七戸町農業集落排水事業特別会計予算
議案第19号	平成22年度七戸町水道事業会計予算

日程第29	議案第38号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
日程第30	報告第1号	平成22年度七戸町土地開発公社予算について
日程第31	陳情第5号	法務局職員の増員に関する陳情書
日程第32	発議第1号	行政サービス向上のため法務局職員の増員を求める意見書
日程第33	発議第2号	七戸町議会委員会条例の一部を改正する条例について

○応招議員（18名）

議長	18番	田中正樹君	副議長	17番	工藤耕一君
	1番	附田俊仁君		2番	佐々木寿夫君
	3番	天間章八君		4番	瀬川左一君
	5番	盛田恵津子君		6番	田嶋弘一君
	7番	田嶋輝雄君		8番	三上正二君
	9番	天間清太郎君		10番	原子孝君
	12番	松本祐一君		13番	二ツ森圭吉君
	14番	田嶋政義君		15番	中村正彦君
	16番	白石洋君			

○欠席議員（0名）

町長	小又勉君	副町長	大平均君
総務課長	塚尾義春君	支所長 (兼支所庶務課長)	千葉岩男君
企画財政課長	楠章君	税務課長	似鳥和彦君
町民課長	澤田康曜君	社会生活課長	附田繁志君
健康福祉課長	田中順一君	会計課長	天間勤君
農林課長	森田耕一君	新幹線建設対策課長	八嶋亮君
建設課長	神山俊男君	商工観光課長	米内山敬司君
上下水道課長	天間一二君	城南児童館長	向中野良一君
教育委員長	中村公一君	教育長	倉本貢君
学務課長	米澤秀一君	生涯学習課長	花松了覚君

スポーツ振興課長	櫻田 明 君	中央公民館長	二ツ森 政 人 君
南公民館長 (兼中央図書館長)	小原 信 明 君	農業委員会会長	佐藤 午之助 君
農業委員会事務局長	大村 清 隆 君	代表監査委員	野田 幸 子 君
代表監査委員会事務局長	小林 広 一 君	選挙管理委員会委員長	松下 喜 一 君
選挙管理委員会事務局長	澤田 康 曜 君		

○職務のため会議に出席した事務局職員

事務局 長	小林 広 一 君	事務局 次長	築田 政 光 君
-------	----------	--------	----------

○会議録署名議員

10番	原 子 孝 君	12番	松 本 祐 一 君
-----	---------	-----	-----------

○会議を傍聴した者（7名）

○会議の経過

○開議宣告

- 議長（田中正樹君） 皆さん、おはようございます。
ただいまの出席議員は17名で、定足数に達しております。
したがいまして、平成22年第1回七戸町議会定例会は成立いたしました。
議長において作成しました議事日程は、お手元に配付いたしましたとおりであります。
これより、3月8日の会議に引き続き、本日の会議を開きます。
これより、議案審議に入ります。
-

○日程第1 議案第20号

- 議長（田中正樹君） 日程第1 議案第20号七戸町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。
これより、質疑に入ります。
発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。
これより、討論を行います。
討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。
これより、本案について採決します。
本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。
したがいまして、議案第20号七戸町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。
-

○日程第2 議案第21号

- 議長（田中正樹君） 日程第2 議案第21号七戸町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。
これより、質疑に入ります。
発言を許します。

16番。

- 16番（白石 洋君） これは、21号、22号等々も関係があるわけですがけれども、いずれにしても町長、副町長、あるいは教育長の方々が報酬そのものを減額して厳し

い財政に対応してきたのだと、こういうことで、それが復活されるのだということであり
ますが、こうした財政を運営していくものの中については、非常に厳しいものがなければ
つついこういう結果になるわけですので。今後ぜひこういうことのないようにしてい
だきたいと思うのですが、財政を預かる財政課長から今後の見通し、私らも含めてそう
すけれども、職員の人たちは大変苦勞された過去があるわけですので、決してもうない
だということについて、どのような考え方で、あるいは、どのような財政の中身からこ
ういった議案の提出になったのかということの説明をいただければと思います。

企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） ただいまの御質問にお答えいたします。

白石議員御指摘のとおり、合併後大変な財政危機を迎えたという経緯をたどって、私
ども財政を預かる者といたしましても首長とさまざま協議をいたしまして、平成22年度
の当初予算につきましては、いわゆる財政健全化法に規定されている四つの指標の中の公債
比率の低下・安定に意を注ぐというのがまず第1点でございます。

それから、第2点目といたしましては、やはり基金の取り崩しを極力少ないものとして
財政の編成ができるようにということが第2点目。

第3点目が、いわゆる政策的な事務事業を実施する際には、どうしても経常収支比率の
改善が重要だということで、その部分を改善するように各課から協力をいただきまし
て、そういう見直しにも意を用いた予算の編成ということと、それらを総合的に実施する
とともに、去年から国の地方に対して配慮された一次補正、二次補正が実施されました。
七戸町においても緊急雇用、それからふるさと雇用等、すべての事業をトータルいたしま
すと、総額9億円程度、これから22年度、23年度までの緊急雇用等の事業がまだ予定
されておりますので、それらが確定しないと確定した額は申し上げられませんが、
一応予定ではその程度の予期せぬといいますか、財源が入ったということで、今までも常
任委員会、あるいは議会全員協議会、それから補正等の審議の中で提案して議決をいた
だいて執行していると。

今回の補正についてもその部分がございます。それから、各課ともなるべくその補助
金、助成金等をいただけるものは頑張って申請をして、手を挙げて採択をしていただ
いて、一般財源の権限に結びつきたいということで取り組んできた結果がこういうふうな
ある程度安定した財政運営につながっているものと思います。

ただ、だからといって手放しで、さあこれから楽だという状況では決してないわけ
ですが、苦しい時期を経た経験といいますか、思いを忘れずに今後も続けていけば、あ
る程度見通しの立つ財政運営ができるのではないかとこのように考えてございます。

極力過去の苦しい状況にならないように、私どもも急に改めるといってもなかなかこの
財政、大変ですので、やはり3年先、5年先というものを見ながら財政運営に努めてまい
りたいと、こういうふうに考えてございます。

以上です。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

2番。

○2番（佐々木寿夫君） ちょっとお伺いいたします。

この条例なのですが、附則の3項削除というのですが、4項が3項に上がっていく。これは附則に第5項というのはなかったですか。この条例を調べてみたら、附則には第4項の次に第5項があるというふうに私は理解しているのですが、そうではないですか。

○議長（田中正樹君） 総務課長。

○総務課長（塚尾義春君） 大変申しわけありません。その条例のほうを持ってきていないものですから、確認して。

○議長（田中正樹君） 暫時休憩します。

休憩 午前10時07分

再開 午前10時09分

○議長（田中正樹君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

総務課長。

○総務課長（塚尾義春君） 大変申しわけありません。第5項が21年の9月1日から同年の11月30日までの附則の条項でございます。

ここはもう1回訂正しまして、この第5項も削るという形で持っていかなければならないと思いますので、訂正して新たに提出したいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（田中正樹君） 14番。

○14番（田島政義君） 5項を削除しない限り、4項は削除されない。3項を削除しないと。4項を上には上げられない、削除してないんであれば。期限があっても附則が取り消されてないんだもの。生きているでしょう、削除してなければ。何かのときに削除ということを出しておけばよかったのだけれども、その辺、町長どう思いますか。

○議長（田中正樹君） 暫時休憩します。

休憩 午前10時11分

再開 午前10時18分

○議長（田中正樹君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

議案第21号は、行政側の文書が整い次第、途中で提案を出すようにします。

日程第2は繰り延べしまして、日程第3に入ります。したがって、日程第3、第4と行くのは全部一つずつ繰り上がってこちらのほうで話をします。最後のほうの日程に今の21号議案が入ってくるようになりますので、その辺よろしく願いします。

今の議案第21号につきましては日程第2になっておりますけれども、これが一番最後の日程に入りまして、日程第3、22号が第2になっていくということです。日程が繰り上がるという意味です。日程順位が繰り上がっていくというだけの話です。

暫時休憩します。

休憩 午前10時21分

再開 午前10時22分

○議長（田中正樹君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

○日程第2 議案第22号

○議長（田中正樹君） 日程第2 議案第22号七戸町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

8番。

○8番（三上正二君） 財政がある程度、目鼻がついたから戻すということなのだと思うけれども、ただ、職員たちの形はこれに出てこなくて、職員の場合は人事院勧告で何ぼか下がっていますよね。これには関係ないけれども、同じ給料という形の中になれば、職員等の給料は人事院勧告で下がっているのについて、もとにただ戻すだけなのかなと。

○議長（田中正樹君） 総務課長。

○総務課長（塚尾義春君） お答えいたします。

この件につきましては報酬審議会を、ということは特別職の職員の報酬審議会を早々に開催しまして、今の常勤のもの特別職の報酬が妥当なものかどうかということ審査してもらって、そして新たに提案する時期が来るのかなという思いがありますので、よろしくをお願いします。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第22号七戸町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

○日程第3 議案第23号

○議長（田中正樹君） 日程第3 議案第23号七戸町職員の特殊勤務手当に関する条例

の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第23号七戸町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

○日程第4 議案第24号

○議長(田中正樹君) 日程第4 議案第24号七戸町消防団条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第24号七戸町消防団条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○日程第5 議案第25号

○議長(田中正樹君) 日程第5 議案第25号七戸町営住宅条例の一部を改正する条例

についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第25号七戸町営住宅条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○日程第6 議案第26号

○議長(田中正樹君) 日程第6 議案第26号七戸町教職員住宅使用及び管理に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第26号七戸町教職員住宅使用及び管理に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○日程第7 議案第27号

○議長(田中正樹君) 日程第7 議案第27号七戸町介護従事者処遇改善臨時特例基金

条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第27号七戸町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○日程第8 議案第28号

○議長(田中正樹君) 日程第8 議案第28号七戸町立図書館協議会設置条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第28号七戸町立図書館協議会設置条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○日程第9 議案第29号

○議長(田中正樹君) 日程第9 議案第29号七戸町観光交流センター条例の制定につ

いてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

14番。

○14番（田島政義君） 第7のところの開館の時間は規則で定めると、その規則、どこに資料がありますか。

○議長（田中正樹君） 新幹線建設対策課長。

○新幹線建設対策課長（八嶋 亮君） お答えいたします。

具体的な規則で定める時間については、これから規則制定に向けて協議して、具体的に詳細について定めてまいりたいと思います。その際は、新幹線対策特別委員会等の場においてまた相談し、新たなそういうものの詳細について定めていきたいと思いますので、この場にはございません。

以上でございます。

○議長（田中正樹君） 16番。

○16番（白石 洋君） この条例を見ていますと、今、田島議員からも指摘があったのですが、これからやるということなのですが、まだ交流センターそのものもできていないので、いろいろな意味でこれから条例は条例としてもとはいいいながら、条例に基づいて物事を進めていくわけですから、私はこれを出す時期が早かったのではないかなという気が十分あるのですよ。

特にこの2条中の2と4なんていうのは、4は必要ないではありませんか。圏域の市町村の観光情報の提供や特産物の紹介を行う。4も大体そんなものですよ。ただ、即売でできるかできないかという話を足すぐらいのものだから、余り条項がくたくたとあるというのは結構ではないですよ。

それから、5条中の町長が管理するとあるのですが、これはとりあえずは町が管理するというのが最初に来る文章の中じゃないですか。細かいことを言って申しわけないのですが。

それから、こういうものをつくるには、最後の別表があるのですが、地域交流コーナーあたりに1区画、1時間当たり100円というのですが、1区画というのは何ぼになって何ぼなんだかということもないし、この前の入札の時点では平米や何かが出ているからと言えばそれまでですが、やはりこういうのは条例のほかにもちょっとつけていただいて、こうなるというようなこと等もあれば私はよかったのではないかなと思います。

それからもう一つ、結局これは町長が管理することになるのですが、前から何回も言っているとおり、ここについては商工観光課が行くとか行かないとかという話についてもはっきりと明言して、例えばそういうふうなことで管理の一部を簡素化、あるいは軽減するという意味で行くのだからという話でもないし、そういったことでもう少し煮詰めた上で私はこの条例を出してほしかったなど、こう思っているのですよ。そうだそうだと言っ

て、ただ条例を出したというだけではまずいなという気はしますよ。

もう一つは、この観光交流センターの名称は名称でいいとしても、この位置が七戸町荒熊内67番地49の一部から何とかかんとかってずらっと一部がついているのですが、これは何か1本でまとめて何とか出されないものですか。これは何とかしたほうがいいですよ。余り格好のいいものでもないし、荒熊内の67番地の49とか何とかということになればはあとと思うけれども、そういうこともありますから、総じてどんなものですか。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） 時期が早いのではないかという御指摘も確かに一部私のほうで考えていますけれども、基本的なものをまず条例で定めて、それに向けて例えば周辺のいろいろな観光情報の紹介とかそういったものがあります。そういう呼びかけというのを具体的にしなければならぬというふうに思っています。

それからもう一つは、具体的なものはこれからというのは、例えばダイヤの発表がないと開館時間、閉館時間というのは決めることができないということもあります。そういったものは細則のほうで決めるということになると思いますし、それから住所の関係なのですけれども、いわゆる駐車場なんかもあるのです。今は3カ所ですから。その辺の絡みがあって、今出す時期ではこれしかない。

今おっしゃったのを参考にしながら、改めてもう少しきちんと合理的に表現する方法がないものか、これはこれからも検討していきたいと思っていますが、とりあえずは基本的なものを定めることによって、改めて今からでも外に向けての具体的な呼びかけと、こういったものが出てくるということで、今、提案したので、その辺でひとつ御理解いただきたいと思えます。

○議長（田中正樹君） 新幹線対策課長。

○新幹線建設対策課長（八嶋 亮君） 補足説明させていただければと思います。お答えいたします。

あの位置の住所につきましては、交流センター確認申請を出す際に従前地の住所ということで申請をせざるを得ない状況でありまして、最終的に換地が全部終わりますと正式な字地番が出ます。その際にまた条例改正のお願いを申し上げたいと。そのときに1本の住所ということになります。

それから、町長が管理するという言葉の使い方は、これまでの条例でそれぞれの市においてそういう言葉の使い方をしていましたので、その例に倣いまして使わせていただいていた。

また、1区画100円というのは、二戸の駅のなにゃーとですか、あそこが5メートルだか15メートルで1区画200円ということの一つの参考例がありまして、うちのほうが1階の交流ホールが柱柱で大体簡単に言いますと5メートル5メートルのところは八つとれるような、8区画とれるような形になっております。そういう意味で、二戸のほうの例も参考にさせていただいて、とりあえずゼロということはないということで、とりあえ

ず100円ということで提案させていただいております。

以上でございます。

○議長（田中正樹君） 16番。

○16番（白石 洋君） この条例が出る段階ですから、実際は管理の状況をどうしようとしているのか。その辺、私、先ほど申し上げたように、投げ話かどうかは別として、商工観光課が行くとかどうだとかという話も出ているのですが、私たちにはその姿がよく見えてこないものですから、非常にいろいろな意味で一般質問であれ何であれやりづらい面もあるわけですよ。

ですから、町長の構想の中で発表する時期なのか時期でないのかはわかりませんが、ただ、少なくとも議会では条例が出る段階でもありますから、ひとつ構想と申しますか考え方の一端を、全部でなくてもいいのですよ、一端をもう少し述べていただければなと思うのですが。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） それではお答えします。

この観光交流センターをつくる段階で、構想した段階で、町が直営するのか、あるいはもう一つが指定管理なのか、このどちらかだなということで考えてきました。いわゆる管理費の削減と、そういったことも含めて、基本的には町の直轄にすると、町が管理ということにしたいと、そう思っています。ただ、一部業務については必要なところに業務の委託というのも、これはあると思います。けども、町の管理と。しからば、じゃあ町の中でどこかということになりますけれども、はっきり確定ということではありませんけれども、基本的には商工観光課がそこに行って管理すれば一番合理的だなというふうに思っています。

じゃあ、全員が行くのか、またはその中の一部が行くのか、実は今検討はしておりますけれども、まだはっきり詰めていない部分がありますので、その辺はまだ定かではありませんが、基本的にはそういう考え方で進めたいと、そう思っております。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第29号七戸町観光交流センター条例の制定については、原案のとおり可決されました。

○日程第10 議案第30号

○議長（田中正樹君） 日程第10 議案第30号七戸町文化村設置条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

14番。

○14番（田島政義君） これも管理の関係で、恐らく商工観光課なりが行くとすれば観光協会だと思うのですが、となると七戸の秋祭りの山車展示室そのものが道の駅でいいのかどうかということと、秋祭りについては観光協会が絡むのであれば、ここは山車も展示つくることになって予算を通していますので、そうなることをちょっと考えていただかないと管理体制がうまくいかないのではないかと。であれば、私はここだけは商工観光課のほうに山車展示場については移しておいたほうが、道の駅のほうが非常に楽だと思いますので、そのように検討していただきたいと、よろしくお願いします。

○議長（田中正樹君） 要望でよろしいですか。

○14番（田島政義君） はい。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第30号七戸町文化村設置条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○日程第11 議案第31号

○議長（田中正樹君） 日程第11 議案第31号七戸町公の施設における指定管理者の指定についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第31号七戸町公の施設における指定管理者の指定については、原案のとおり可決されました。

○日程第12 議案第32号

○議長(田中正樹君) 日程第12 議案第32号七戸町公の施設における指定管理者の指定についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第32号七戸町公の施設における指定管理者の指定については、原案のとおり可決されました。

○日程第13 議案第33号

○議長(田中正樹君) 日程第13 議案第33号町道路線の認定についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第33号町道路線の認定については、原案のとおり可決されました。

○日程第14 議案第34号

○議長(田中正樹君) 日程第14 議案第34号負担付き寄付の受け入れについてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第34号負担付き寄付の受け入れについては、原案のとおり可決されました。

○日程第15 議案第35号

○議長(田中正樹君) 日程第15 議案第35号上十三地域広域市町村圏協議会の廃止についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

14番。

○14番（田島政義君） 新幹線の駅名が決まるまでは盛んに広域圏としゃべって、十和田地だったらやめると、これも不本意じゃないですか。当初から登記していないと金も集められないというのは指摘しても、前の町長はそうでないと言ったけれども、今になってみると全く人をばかにしたような感じ。

駅名がついたら、これは町長のほうで何か話をしたことがありますか。十和田市のこのことについて。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） 確におっしゃることもわかりますけれども、そのことと今の廃止とは関係がないといえれば関係がないと。いわゆる国の法律の中で定住自立圏構想というのをなくするというので、そういったきちんとした法的に認められた団体から、今度はこれ自体は存続ということになりますけれども、法に基づいたものではないということになるということで、これからもいろいろなものは、例えば広域圏の中での共通の政策課題なんかはまた協議しながら要請活動なり、こういったものはすると思いますが、今回の法に基づいた組織のは廃止になるということでもあります。ひとつよろしくお願いします。

○議長（田中正樹君） 2番。

○2番（佐々木寿夫君） 新幹線開業になって、上北地方の広域市町村圏が一致して新幹線を盛り上げていこうと、こういうときに法的にこれを解散するというのはわかるのですが、もし法的に解散しなければならぬのであれば、これにかわるような上十三の広域市町村圏のいろいろな活動ができる組織というものはあるのですか。消防や農協なども大体一致してきているから、本当は広域市町村圏というは大変大事だと思うのですよね。だから、私はこの廃止については納得いかないのですよ。

だから、もし法的に廃止しなければならぬのであれば、それにかわるものをつくる構想があるのかどうか伺いたいと思います。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） 先ほども答弁したとおり、これで全部なくして集まる機会とかそういったことはないということではないと。さっき言った定住自立圏構想という国の一つの制度に基づいたものはなくするけれども、圏域の9市町村の関係するいろいろな政策の課題だとかやらなければならないこと、消防のこともあります。さっき言った農協のこともこれから出るかもしれません。そういったことについては、いわゆる任意で引き続き同じような形で協議をしながらやっていくということになりますので、その辺はひとつ間違わないように理解していただきたいと思います。

○議長（田中正樹君） 16番。

○16番（白石 洋君） 法的に云々ということはわかりました。

これはいずれにしても上十三が今まで何をやるにしてみても、いろいろな意味で協力、

協調し合いながら来た過去があるわけで、たしか二、三日前だったか1週間ぐらい前だったかの新聞紙上で、上十三地域云々、この協議会が下北広域のあれで協議会ができたというようなことを見たような記憶があったのですが、そういうようなことがあるものですか、上十三だけではなくて、下北全域を含めて一緒になって協議会をつくるものなのかなと思ったのです。新聞でたしか見た記憶があるものですから、その辺を存じ上げてないとなれば話になりませんので。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） 今までそういった話というか、何も来ていませんので、恐らくそれは間違いだと思います。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

14番。

○14番（田島政義君） 前のときも言ったときに、広域圏を登記していないから金も集められないとか、事務局は十和田市だといながら金を幾らかずつでも集めてくださいといったら、任意の団体だからそういうのはできない。今みたいな任意の団体だと、前は十和田の市長だって応分のお金は出しますという、私が議員になるちょっと前なのですが、休んでいるときでしたから皆さんの中でいろいろな話をしたときに、新幹線の協力体制では十和田市もそれなりのことをするということがあったのだけれども、結果的に任意の団体の協議ですから契約も何もない、ただの任意だということで、登記していると事務局はちゃんとして何ぼ何ぼお金を集めるというふうにしましょうと、こういう意見で今のようなのができるのだけれども、その辺のあれはどうなの。本当に登記していない、ただの任意だから事務的なものは十和田市が便宜上やってくれるのですが、一たんお金とかそういうものについては何の取り決めもないというのは、そういう考え方でいいのかどうか教えてください。

○議長（田中正樹君） 暫時休憩します。

休憩 午前10時50分

再開 午前10時53分

○議長（田中正樹君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

町長。

○町長（小又 勉君） いろいろな今までの経緯の中で、観光交流センターの建設については、第一にまず県からは圏域の住民の利便性を図るということで県の補助も出します。あるいは、国も当然そういったことについての補助ということで、そういった補助をもっているということも一つありました。

いわゆる圏域の各市町村の住民が利用するのであるから、ある程度の負担はお願いしたほうがいいのではないかという話がありました。ということで、一部お願いということでお話ししたことがありますが、圏域でこぞってという状態ではない、いわゆる在来線を持っている市町村があり、空港を持っている市町村があると、非常に微妙なものがありま

して、なかなかまとまらなかったということがありまして、そういった負担とか協力要請というのはその時点では断念したという経緯があります。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第35号上十三地域広域市町村圏協議会の廃止については、原案のとおり可決されました。

○日程第16 議案第36号

○議長（田中正樹君） 日程第16 議案第36号小川原湖広域水道企業団の解散についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第36号小川原湖広域水道企業団の解散については、原案のとおり可決されました。

○日程第17 議案第37号

○議長（田中正樹君） 日程第17 議案第37号小川原湖広域水道企業団の解散に伴う

財産処分についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第37号小川原湖広域水道企業団の解散に伴う財産処分については、原案のとおり可決されました。

○日程第18 議案第1号

○議長(田中正樹君) 日程第18 議案第1号平成21年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算(第5号)を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入から行います。

12ページ、第1款第1項町民税から、16ページ、第13款3項委託金まで発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 次に、16ページ、第14款第1項県負担金から、19ページ、20款第1項町債まで発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 16ページ、第14款から、19ページ、20款第1項町債まで。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 次に、20ページ、第1款第1項議会費から、26ページ、第2款第1項総務管理費まで発言を許します。

2番。

○2番(佐々木寿夫君) 21ページ、第6目企画費19節交道路線維持補助金、七戸町町づくり活動費補助金、いずれも3分の1ほど1,000万円以上のお金が残っているの

ですが、これはどういうわけかということを知りたいと思います。

○議長（田中正樹君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） ただいまの御質問にお答えいたします。

さきに御審議をいただきました当初予算の中でも御説明をいたしましたけれども、この件についてはうちのほう、十和田観光電鉄さんへ補助を出してございますけれども、十和田観光電鉄さんで経営立て直しのための改革が、当初予定していた計画が終了したことによりまして人件費等が圧縮されたということで、このような大きな減額になったという内容でございます。

それから、町づくりの会活動費補助金、当初一般財源で財源を見てございましたけれども、県のほうから申請をした結果、補助をいただけるということで、その分の財源の組みかえという内容でここは一般財源の分として減額という内容でございます。

以上です。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

12番。

○12番（松本祐一君） 24ページのつつじロードの整備なのですけれども、企画費の中にもヤマツツジの植栽があります。

それで、資料があるのですけれども、つつじロードの金子氏宅ってあるわけです。今、春っていえば天王のつつじまつりが盛んかなと。新幹線が開業を迎えたときには、春は天王つつじのあれではないかと、そう思います。そういうわけで、私だったら金子氏宅からこれでいくと南のほうに、下のほうに、できればつつじを植栽していただきたい。仮にできなかつたら鉢とかポットでもいいです。つつじまつりの期間中だけでもいいのですけれども、そういうことは考えられないでしょうか。

○議長（田中正樹君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） ただいまの御質問にお答えいたします。

私どもでも天王のつつじまつりに連動したものでということで、実際にルートを歩いたりしました。ただ、今あの植栽しているつつじが大分年数のいった大変立派な木でありまして、その区間がどうしても植栽するスペースが確保できないと。それから、先ほど御質問の中にもありましたように、ポット等で対応できないかということも考えました。ところが、枝ぶりがいいものですから、コンクリートとかさまざまなポットのそれもあるでしょうけれども、その辺もありまして、今、植栽をできる場所のところへまず植栽をして、その後どういうふうな対応ができるかできないかも含めてさらに検討を加えていきたいというところまで私どもでは考えてございます。

○議長（田中正樹君） 12番。

○12番（松本祐一君） 検討しているということはいくぶん分かります。そういうわけで、今のヤマツツジは大きいですね。はっきり言って失礼かもしれないけれども、1,000円ぐらいとか2,000円ぐらいのやつ小さいので、恐らくあそこは城内町内会さん

の地域になるかと思うので、町内会さんをお願いして各家庭に置かせてもらおうと。私だったらくれてやって、その次の年、翌年も出してもらえればいいのですけれども、とりあえずはポットでいいと思うのですよ。天王つつじの期間中だけでも維持管理してもらおうと、水をやってもらったり、夜になったら引っ込めるとか、朝になったら出すとか、そういう形でもいいですから、最後は城内町内会さんをお願いしなければならないことですが、みんなボランティア的な気持ちでやってくださると思うのですよ。ぜひその点も検討していただきたいと思います。要望です。

○議長（田中正樹君） ほかにございませんか。

2番。

○2番（佐々木寿夫君） 23ページ、17エネルギー対策費についてお伺いいたします。

まず、七戸町地域新エネルギービジョンというのをつくっているのですよね。この計画は大変すばらしい計画で、私も読んでみて大変感動している計画なのですが、それによりますと平成21年度、今年度はVDRかな、要するに廃油を使ったエネルギーにするというのが、ことしは実験するという段階の計画になっているのですよ。それがまずどうなったかということをお伺いしたいと。

それから、議会でも出ているのですが、てん菜を2年間やって大変いい結果が出たと。これをやれば七戸の未来が明るくなると、私は企画に行き話聞いたときにはそう思ったのですが、あれは2年の試験でやめるというのですよね。ということであれば、てん菜でなくて別なのをやったほうがもっとよかったのではないかというふうに思うのですよ。

だから、てん菜を2年間でやめるのは試験で仕方がないのですが、何かもったいないという感じがします。この2点についてお伺いします。

○議長（田中正樹君） 社会生活課長。

○社会生活課長（附田繁志君） お答えいたします。

社会生活課では、省エネルギービジョン策定に取りかかっており、今、ちょうど計画書ができたとございます。これによりますと、具体的にはまだはっきりしていませんけれども、今後そういうVDFの対策に積極的に取り組むというふうな状況でございます。

以上でございます。

○議長（田中正樹君） 農林課長。

○農林課長（森田耕一君） てん菜の関係でお答えいたします。

てん菜の試験圃場につきましては、20年、21年度で実証試験を行いました。その結果につきましては、北海道と同じぐらいの収量、それから糖度があるということで、収量的にはそんなに変わらないだろうと。

それで、今後ですけれども、例えばそれをやるにいたしましても、コンビナートといいますか精製工場関係の費用が莫大にかかる。その面積的にも町のみだと、工場関係のコスト面におきましても負担が大きすぎるのではないかと、事業費の関係といいま

すか、その辺で実証試験はいいものの、後の精製工場の費用関係もございまして、それで実証試験は20年、21年度で終わるということでございます。

○議長（田中正樹君） 2番。

○2番（佐々木寿夫君） 社会生活課長にお伺いたします。

七戸町の地域新エネルギービジョンという企画課でつくっているものと、さっき課長が言った計画とはちょっと違うのですよね。同じ町で二つの計画は必要なのですか。

まず、地域新エネルギービジョンのほうではVDFをこしから実験ということなのですが、先ほどの話だと来年からということで、要するに同じ計画が二つあるからこれはどうかなということと、それから、農林課長が言った収量的にすごくいいのだが、実際、工場の設備等にかかるし、一定の収量がないと操業できないわけですから、でも、私にしてみればそんなことは初めからわかっていたので、別なものでそうなら実験してやってみてもいいんじゃないかなと思ったりしているのですが、その辺はいかがなものでしょうか。

○議長（田中正樹君） 社会生活課長。

○社会生活課長（附田繁志君） お答えいたします。

このVDFにつきましては、社会生活課のほうの省エネルギービジョン、これは省エネの観点から食品油の廃油を回収して、そういうふうな対策を講じたいと、こういうふうなことでございます。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

2番。

○2番（佐々木寿夫君） 別なものでやってもよかったのではないかと思ったりしているものですから、余りにも残念だったので、こういうことで。

○農林課長（森田耕一君） 実は、てん菜のほう、試験を行った経緯でございますけれども、これに関しましては食用に関係ない作物といえますか、その関係と、従来かなり前でございますけれども、この地区でも栽培した経緯があるというところから、期間も結構かかってございましたので、実際にどうかなということで実験したという経緯でございます。

○議長（田中正樹君） 14番。

○14番（田島政義君） 25ページの原材料費のローズガーデンの苗木のところなのですが、先ほど12番議員が言ったように、町の中では有志の方々が天王から木でつくった鉢を重く土を入れて何十鉢だかやる計画をしているのだと思うのですよ。これを見たので、もし町のローズガーデン、バラばかり買うわけじゃないですから、つつじを町有地で勝手にとるとだめですから、この中でもし幾らかつつじを買えるのであれば、余り大きくないのをやると、有志の方々が今黒土を探してございまして、大工組合に入っている方が鉢をつくってくれる。有志の方々が何人かで、柏葉町の方が親分になってつくって、一応今のところ60ぐらいは並べたいという形をしていますので、もし苗木がない場合、役場のほうに行ったら、これはお願いですから、何とかその方々が行ったら対応してくれれば助か

るなと思います。よろしくどうぞお願いします。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

4番。

○4番（瀬川佐一君） 23ページの新エネルギーについてですけれども、私はこれバイオエネルギーで一般質問したときがあったのだけれども、それについてはそのとき町長はビートが盛んで、そういうのがアルコールにかわってできるということで八戸の大学とかでも研究があって、それに手を挙げる企業とか、名乗りを上げたのがあるかないか、その辺を聞きたいと思います。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） お答えいたします。

まず、地域的な資源といいますか、土地から何から非常にここに適していると。だけど、とれるのかとれないのかというののまず実証試験と。でも、収量的にも問題なし、糖度もいいということです。

これからガソリンがリッター200円になれば、企業を誘致して十分にペイできるということですが、相当上がりそうで今下がったり、そこまで行っていないと。ですから、今無理してやっても絶対ペイしないし、これはガソリンに混合する段階でのプラントが今ここにはない。新潟県か、あるいはまた神奈川県根岸、あそこにしかないそうあります。ですから、流通もまだはっきりしっていないと。そういう面で企業化というのは、今のところ断念せざるを得ない。

これから油の価格の動向、あるいは国も今かなりバイオ燃料を混合する方向に行くような方向性を打ち出しておりますので、その辺もにらみながら、いいとなれば十分もう実証しましたのでできるというふうに思いますが、今の段階ではそういう意味では無理だというふうに思っております。そういうことです。

○議長（田中正樹君） 4番。

○4番（瀬川佐一君） この辺は非常に転作田も多いし、畑も多いし、連作体系さまざまなので立地条件がいいと思いますので、これは将来のエネルギーとしてぜひともこういうふうな企業が手を挙げたら率先してやることをお願いいたしまして、要望で終わります。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

16番。

○16番（白石 洋君） 建設課長にお尋ねしたいのですが、地域活性化の24ページのつつじロードのことでお伺いをしたいのですが、私、貧乏性なものだから非常に予算を見て感じるわけなのですが、この中でつつじロードの歩道整備工事の設計委託料に329万9,000円かかるのだと、こういうことなのですが、2メートル50の幅員幅で570メートルを設計するのに330万というのは、私は非常に高すぎるのではないかと、こういう感じがするのですよ。

というのは、先が見えないわけでもないし、段差があるわけでもないし、あの牧場道路の

真っすぐなところに歩道をつけるのに330万というのは、ちょっと強すぎるのではないかと。下手すれば、うちの役場には優秀な職員がたくさんいますから、建設課の職員だってこれまでいろいろな経験をしてきているわけだから、むしろこれは役場の職員の人たちが設計して金額をはじき出してやったほうがいいのではないかという感じがするのですよ。私の言い方、乱暴かもしれませんが、何となくそんな気がするのですよ。

この辺について、課長が設計をあれして予算を組んでという話にもなるから、これはルールでしょうけれども、私から見ればそんな感じがするのですが、どんなもんですかこれは。仮に役場の職員の方が、標準断面ぐらいで出てくると思いますよ。延長をかければ。一部側溝は入るかもわかりませんが、そんなではないと思うのですが、その辺はどういうふうに感じられますか。

○議長（田中正樹君） 建設課長。

○建設課長（神山俊男君） お答えします。

御存じのように、つつじロード570メートルの歩道幅、幅員2.5メートルの予定の工事に伴う設計業務委託料でございますけれども、さらに歩道と車道の間側に側溝を整備するという計画を盛り込んでございます。

それで、歩道のレベルとか側溝の排水の絡み、見た目真っ平らというか傾斜の部分には見えますけれども、切り土、盛り土も、恐らく盛り土の部分が出てくるかとは思いますが、そういう意味合いで工事の設計に際しての必要最低限の項目を測量委託をかけたという意味合いから補正予算に計上いたしました。

以上です。

○議長（田中正樹君） 16番。

○16番（白石 洋君） それはよくわかっているわけですよ。だから、私はあえて乱暴な言い方で申しわけないのだが、私たちから見ると平らに近い、いわゆる真っすぐな道に側溝を入れて歩道をつくるのだということは、標準断面ちょこっとで意味がわかるわけですよ、業者の人たちは。それに延長と幅かけて云々という、積算しても大したことなく出てくると私は思っているのですが、それがいわゆる建設課のほうでも予算云々というときに、そうではなくて、あくまでもきちっとした設計業者のものがなければならぬのか。あるいは、私がさっき言ったように優秀な職員がいるから、これぐらいについては300万も出さなくても、これだけ頑張ってくれるだけでも大したものだと思うのですよ。いろいろなことに使えるわけですから。そこを私は言っているのですよ。だから、あなたの言い方は乱暴ですよというのかどうなのかということをお尋ねしているわけですよ。もう一度ひとつ。

○議長（田中正樹君） 建設課長。

○建設課長（神山俊男君） 先ほどの答弁で、町道敷地の中に歩道を設置するというものの、町道の幅の全体の測量、つつじの植栽場所、そして松並木、その北側に民地があるわけですが、一応その部分までの土地の測量も行わなければならないということも

御理解願いたいと思います。

○議長（田中正樹君） 16番。

○16番（白石 洋君） それは町がやろうが設計業者がやろうが何しようが、いずれにしても民有地をあれするにはちゃんと測量をかけなければいけないわけですから、そのことは別として、そういうもろもろは別として、基本的な考え方として私の言っているのは乱暴な言い方なのか、あるいはどうしても予算に計上されたとおりの330万を払ってやれば、もったいないからそうするだけの話なのか、その辺を伺いたいと思うので。

○議長（田中正樹君） 建設課長。

○建設課長（神山俊男君） お答えします。

乱暴だと言えといえどどうか分かりませんが、最低限この程度の業務委託をかけて工事を実施してまいらなければ、後で不都合とかさまざま流末の問題も出てきますので、委託の発注に際しては最低限予算があるからといって無駄遣いすることのないように努めてまいりますので、ひとつ御理解願いたいと思います。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 次に、26ページ、第2款第2項徴税費から、32ページ第5款1項労働諸費まで発言を許します。

2番。

○2番（佐々木寿夫君） 32ページの労働諸費について伺います。

5款21節ということになりますが、労働諸費は当初予算では110万7,000円程度しか盛られていなかったのですが、補正予算で1,600万円になって、そして今度は1,000万円を削って七戸町雇用創造協議会へ貸付金としてお金が残ったわけですね。そして、今度は歳入のほうでは、これは19ページにあるのですが、歳入の諸収入の雑入の中に七戸町雇用創造協議会返還金ということで1,050万円あるのですよね。だから、労働費からとって貸付金にして貸しつけたのは、こっちでは今度は返還金になっているということで、私はどうもここが理解できないのですよね。

労働費というのは、そもそも働く者のためにさまざまな福祉などに使うお金なのですが、この1,000万円のお金のやり取りのところがちょっとわからないから御説明ください。

○議長（田中正樹君） 商工観光課長。

○商工観光課長（米内山敬司君） お答えいたします。

この減額につきましては、当初昨年9月、補正のほうで1,500万補正をさせていただいたのは、七戸町の雇用創造協議会で雇用創造推進の事業、また実現事業の二つの事業を進めるに当たりまして、いわゆる国の補助金が事業を始めるために、7月から始まる給料を払わなければならないのですが、国の補助金が入ってこないと事業ができないということで、当面の事業費を町のほうからお借りするというので1,500万を補正させ

ていただいております。

ただ、現実的にその後国のほうの補助も予想以上に早く入ったということもありまして、ことしの2月に450万をお借りして、その450万を国の補助金が入ったために町のほうにお返ししました。残りの事業を進める部分の国の補助があるものですから、もう1,050万は要らないということで減額させていただいたところがございます。ですから、1,500万をお借りする予定なのは、その中から450万をお借りして、1,050万を使わなかったということで減額したということでございます。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 次に、32ページ、第6款第1項農業費から、36ページ、第7款第1項商工費までですが、ここで農業委員会から説明等をお願いします。

初めに、農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（大村清隆君） 私が12月議会で答弁しました農業委員の守秘義務について、ちょっと間違いがありました。

農業委員は、地方公務員法第34条の守秘義務が適用されずと発言しましたが、一般職員は適用になりますが、農業委員は特別職の地方公務員ということになり、地方公務員法の規定の適用を受けないというので、私の発言が間違いということになります。これは、私が勘違いをしていました。訂正させていただきます。まことに申しわけございませんでした。

○議長（田中正樹君） 次に、農業委員会会長。

○農業委員会会長（佐藤午之助君） 12月議会で、8番議員から全議員に対して送付された投票の中身についての質問がありました。

一つ、土地改良区の組合員の名義を本人の承諾なく変更したというのが第1点、それから第2点目、農地を購入するための契約を解除したことを他人に話したのは守秘義務に違反していると、この2点の質問であったと記憶しています。そのときに当事者の方々も来ていただいて、意見を聞きながら委員会を開いてやりたいと発言しました。

このことから、12月議会、総会時に議会での報告をしたところ、1点目、土地改良区の業務であること、2点目、私個人の問題であることから、農業委員会では取り上げるべくことではないという結論に達しました。

本件につきましては、あくまでも個人的な問題ですので、経過や内容等については議会への報告はできないと思われまます。今後は個人情報等の取り扱いについては十分に気を付けてまいりたいと思ひます。

議会の皆さん方に対し、御迷惑並びに御心配をおかけしたことに對しまして、まことに申しわけございませんでした。

以上が私の報告にさせていただきます。

○議長（田中正樹君） 説明等が終わりましたので、発言を許します。

8番。

○8番（三上正二君） 委員会で会議して報告したという会議録はありますか。もし会議録があったのならば、どういう形の中の会議を開かれたその経緯を教えてください。

○議長（田中正樹君） 農業委員会会長。

○農業委員会会長（佐藤午之助君）

○議長（田中正樹君） 8番。

○8番（三上正二君） もし仮に会議録がないということは、案件外ですよ。そういうことでしょうか。例えばこの議会でも休憩をかけてやったら、会議録とか議事録は何もないでしょう。それが政治案件とって農業委員会で報告したので協議案件になりますか。会議をして、もしそのときに全員が来ていればまだしも、もし仮に1人か2人でも欠席していたならば、こういう告知をしないでこうこうこういうのをやりますよとやらないで総会後に会議したって、それは会議にならないのではないか。

それともう1点、あなたは私個人の問題と言っていますけれども、七戸町情報公開条例とあります。第2条の中で実施機関、町長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会及び議会を言う。3条で、途中省きますけれども、実施機関は個人の秘密その他の通常他人に知られたくない個人に関する情報がみだりに開示されるようなことがないように最大限の配慮をしなければならないとあるのですよ。あなた個人と言いましたが、あなたは農業委員会の会長ですよ。その会長である農業委員ならばまだしも、農業委員も一緒ですけれども、例えば私でもやはりそれこそ自分がその、農家これから出てくる人が苦しくなって、かまどけして、仕方なく、やむなくこうやって土地売らなければならなくて、いずれかはしたれるかもわからない。だけど、それをこうやって農業委員会の会長たるものがほかに行って話して、それに個人的だって済まされるかい。この人たち、それから先般のときに1月かいつのときに傍聴者がいたはずだ、農業委員会の。そのときに、あなたがみんなしゃべったの、それが全部、この中身をしゃべったはずだ。そういうふうに伺っている。その後に農業会議に行ってきた、どういうのですかと。2月9日に局長会議で全部の県下の局長会議があったでしょう。そのとき何て聞いてきたのだけ。

もし仮に、例えばそのときの内容は、うちが親父がだめになって息子に競売かけられるのかどうするのかって、そういう中身だって、もし仮に訴えれば町が訴えられるんですよ。あなた個人と言いますと、情報公開の形の中でどう説明するのか。答弁願います。

○議長（田中正樹君） 14番。

○14番（田島政義君） 会長、議会ですから、あなたは休憩を挟んで控え室でいろいろ議長のあっせんに入って、議会開会して会長としてあなた答弁したことがある。関係者を呼んで農業委員会を開いた後、議会に報告しますとあります。あなたはさっきの答弁何ですか。報告要らない。議場ですよ、ここは議会ですよ。そんなことをまともに言うんです

を、もう1回開くなら開く、きちっとした形の中で委員会を開いて、もう1回議長のところ
にきちっとした形の中で出すものは出すことを約束しないと、認めるわけにいかないで
すよ。あなたの責任を追究しますよ。

○議長（田中正樹君） 農業委員会会長。

○農業委員会会長（佐藤午之助君）
.
.
.
.
.
.
.

○議長（田中正樹君） 農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（大村清隆君） 私のほうから、局長会議のときの農業会議の説明
の内容ですけれども、会議は公開ということで、あと、議事録も公開しますけれども、あ
くまでも個人情報には十分留意して公開する、そういう形で総会をやってくださいという
県のほうの説明でありました。

以上でございます。

○議長（田中正樹君） 8番。

○8番（三上正二君） 傍聴者がいたときの会議の進め方はどうだったのですか。傍聴者
がいたときあるでしょう。そのときには個人情報は配慮された形でやられたのですか。

○議長（田中正樹君） 農業委員会会長。

○農業委員会会長（佐藤午之助君）
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.

○議長（田中正樹君） 8番。

○8番（三上正二君） 今、あなたがいみじくも自分でそういうふうに言ったのですよ。
あなたが今答弁したことを言うのですよ。あなたは一番最初、個人的なことだから関係な

いと。委員会でそういうふうにしたと。だけど、そのときの会議録もない。会議録があったとしても、あなたの言った言葉としたらそのとおりでしょう。だとする、100歩譲って。でも、その後、何て言いましたか。指導を受けたから、次の2月の委員会のときには個人名を出さないようにしてって、私はそのとおりっていう。だったら、先にやったのは間違いということでしょう。

それと、この議場のこの場所で議長が2回も話して、それであなたがこういうふうになりましたのですよ。そのときに、あなたは何て答弁したとっていますか。記憶にありますか。なければ、途中省きますが、こう言った。誤解があるようですから関係者と集まって協議して、それで委員会で統一見解を出しますと、そういうふうに議場に言っているのだよ。けども、報告があるななも関係者とも合っていない、議事録も何もない。議長があっせんしてやったんだよ。私1人でやったのではなく、それで議長が間に入ってこういうふうにしてそれでやったのだよ。議会が侮辱された。少なくともやったことは、誤解を招いた原因だろうがどうだろうが、その前にまず関係者で集まったりそういう協議をして、それから議会に報告するのかわからないのかだったらわかる。何もやってない。

今度は何もやらないで、その後において2月の9日に指導を受けて、その後でやっぱりこういうのはうまくなかったとあなたは今認めたでしょ。先にやったということはおかしいことですよ。何で個人的な問題なの。ましてや、前段の部分で個人的でプライベートなことはしゃべってもどうでもない。だとするならば、農業委員がそうだとするならば、傍聴した人はみんなあれはどこのだれとか、あれこんどかしゃべって歩いてもいいわけだな。そうでしょう、だってしゃべって。その後、後段においてはしゃべってはだめだと。とするなら、その知り得た情報、傍聴者があって、その人は何人いたのかわからないけれども、その人たちもこれは私たちの指導のもとであれだったから、この部分についてはそれこそ忘れてくれとか手を打たなくてもよかったの。答弁願います。

○議長（田中正樹君） 暫時休憩します。

休憩 午前11時44分

再開 午前11時54分

○議長（田中正樹君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

14番。

○14番（田島政義君） 農業委員会の会長をお願いします。

今までいろいろ紛争していますが、きょうの8番議員からの答弁、それから私に対しての答弁の内容について、とりあえず撤回していただきたい。それと同時に、12月の書類が残っていますし、今回の議事録が残っています。だから、言ったことの撤回はちゃんとしてください。責任はありますよ。

議長からの申し入れをあなたのほうでちゃんと受けて、再度それについて委員会を開いて議会に報告するのを約束してください。よろしゅうございますか。

○議長（田中正樹君） 農業委員会会長。

○農業委員会会長（佐藤午之助君） 今、御指摘されたとおり、先ほど来の数々申し上げたことを撤回します。後は議長さんのほうから話があるようでございますので、また意見を聞いて従いたいと、こう考えております。

○議長（田中正樹君） ただいま、農業委員会会長が発言を撤回するということですが、12月議会で会長が発言したとおり、この次の定例会までに再度農業委員会を開いて答弁できるようにしておいてください。

農業委員会会長。

○農業委員会会長（佐藤午之助君） 今、議長からお話がありましたように、再度、農業委員会で正式な議題と取り上げ、そして議事の内容等すべて報告するようにいたします。

○議長（田中正樹君） 8番。

○8番（三上正二君） 撤回したにしても、それは撤回しても議事録に残りますし、それから今までの経緯とか、あなたの手元に報告書もあります。その詳細について、全部を農業委員会に提示して、ちゃんと議事録として残してやってください。それと、責任の部分も十分自分で考えてください。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 暫時休憩します。

休憩 午前 11時57分

再開 午後 1時03分

○議長（田中正樹君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

議会運営委員長から報告があります。

議会運営委員長。

○議会運営委員長（三上正二君） 先ほど、急遽、議会運営委員会を開催させていただきました。案件については、議案第21号の差しかえについてでございます。

詳しいことは議長から提案がなされると思いますので、よろしく願いいたします。

以上で報告を終わります。

○議長（田中正樹君） 暫時休憩します。

休憩 午後 1時05分

再開 午後 1時08分

○議長（田中正樹君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

次に、36ページ、第8款第1項土木管理費から、40ページ、第9款第1項消防費まで発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 次に、40ページ、第10款第1項教育総務費から、44ページ、10款第5項社会教育費までの発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 次に、44ページ、第10款6項保健体育費から、48ページ、第13款第2項基金費まで発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 次に、歳入歳出全般にわたり発言を許します。

14番。

○14番（田島政義君） 農業委員会の会長にお願いがあるんですが、今までののはそれでいいとして、一つだけ欠落している部分があるのです。

農業委員会のときに、先ほど局長もおっしゃったように、傍聴者について固有名詞で各物件をお話したのをこれから直して甲とか乙とかでやるというのは、これは常任委員会で話をしました。そうすると、農業委員会を傍聴させたときに第3者がいるわけですから、その方を会長、局長が御無理言ってお願いしていただいて、実はこういうふうな指導があったので、固有名詞で言ったものについては何とか極秘にさせていただきたいというのだけは決めておかないと適合性がなくなりますので、そこだけ確約してください。

○議長（田中正樹君） 農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（大村清隆君） わかりました。

○議長（田中正樹君） 農業委員会会長。

○農業委員会会長（佐藤午之助君） そのようにいたします。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

16番。

○16番（白石 洋君） 43ページの成人式の記念品のことに関連してお尋ねをしたいと思っておりますけれども、これは私も出席させていただいたのですが、当然町長たちもおいでになっておりましたが、式典でちょっとつまんだりするやつも出ていましたけれども、もう少し何とか色をつけてもいいと思うほどのものしか出なかったものですから。せっかく一方では張り切って、一生に一度ということであることを思ったりすれば、もう少し何とかしてあげてもよかったのではないかなという気持ちがいたします。それについてどう思うか。

もう一つは、36ページに除雪作業の委託で580万ばかり計上されているのですが、恐らく今回の大雪で580万どころではなくなったと思うのですが、仮に七戸町の除雪をするというところを、用意ドンではい除雪始めとやり出すと、大体全業者みなそれぞれのもがあるわけでしょうが、距離が短かったり長かったりすることも、あるいは町なか、あるいは部落のほうと分けても、大体全部終わるとするのはどれぐらいの時間になるものですか。それから、どれぐらいの費用が今回の場合はかかったのだろうと想定されていますか。全域ですよ。

○議長（田中正樹君） 教育長。

○教育長（倉本 貢君） 成人式の食料、確かに白石議員おっしゃるとおり、私も初めてであったのですがけれども、来年少し検討して幾らかでもいいほうに持って、せっかく遠い

ところから成人式、わざわざ七戸に集まってくるわけですから、そういう方々のことも考えて検討してまいりたいと思います。貴重な御意見ありがとうございました。

○議長（田中正樹君） 建設課長。

○建設課長（神山俊男君） それでは、時間的な問題から、一般的な通常の時間ですけれども、まず、午前1時にパトロール隊が出発します。それに基づいて出動要請、ゴーサインを出すわけですけれども、1月の冬場の真ん中辺を想定していただければ、2時に除雪車が除雪作業に実際に入りまして、7時半までに除雪を終えるような中身で動いております。

その中身は、通勤通学のバス路線の確保を最優先に生活道路とかそういうのに入りますけれども、委託業者のほうも通勤通学という部分は持つ比率が低くて、生活道路とかそういうところを主に委託業者のほうには受け持ってもらって、役場の直営車両につきましては主に幹線道路からスタートしまして、一部生活道路のほうの除排雪を行うと。通常であれば、実際の除雪車が動き出すのは午前2時から7時半をめぐりにしているということです。

それから、費用でございますけれども、業者が19社、車両が28台でございますけれども、除雪時間の短い長いにも左右されるわけですけれども、大体330万円から370万円ぐらい、1回の除雪で。それで、おとといからの豪雪、山背雪の絡みは400万近く1日当たりいくものと考えております。それで2日間、1日だけではとても追いつかず、2日目もまた仕上げといいますか、そういう部分で動かしていますので、800万弱はいくのかなと、そういうふうに覚悟しております。

以上でございます。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

6番。

○6番（田嶋弘一君） 全般ということで、24ページと25ページのところでお話ししたいと思います。

地域活性化事業でいろいろなことをなされたわけなのですけれども、私から見れば今ある施設に対しての形で事業が行われているのですけれども、前回も一般質問なり一般会計のときにお話しされたのですけれども、芝生の件ですけれども、私が思うには、このごろいろいろなスポーツ選手を見ていても、10代の人が結構活躍されているのを見ています。

北海道から、この間、スケートで15歳の人が出ていたのですけれども、結局、小学校から場所的に発揮できる場所ということで、運動能力を活性化するためには、確かにローズガーデンもやらなくてはならなくてやると思うのですけれども、もう少し子供のスポーツ選手をつくれるような形をつくるのであれば、試験的でもいいですから学校に芝生を植えてほしいなど。

我が青森県は、小学生の肥満度でもかなり高いほうだと聞かされています。それゆえ

に、この芝生を植えることによって、昼、給食を食べた後に先生と一緒に外で遊ぶと。先生みずから引っ張って行ってやっつけていけば肥満度解消がなくなると。それと、スポーツ選手、5年後、10年後のことを見れば、脚力の問題でもすごくプラスになるという話を聞いています。できればそういうデータをつくりながら1回試験的にやってほしいなと私はそう思うのですけれども、その辺どうですか。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） 試験的ということですので、その辺十分調査してみて、確かに教育的な気持ち、あるいはちょうど発育盛りということで、そういった効果というものもあるというふうなことも聞いたことがあります。検討してみたいと思います。

○議長（田中正樹君） 教育長。

○教育長（倉本 貢君） この間の一般質問でもお話ししましたがけれども、芝の健康に対する、あるいは精神的な陰性に対する高揚というのは非常に大きいものがあるということは、私自身も承知しております。

ただ、芝というのは皆さんも御承知のとおり、なかなか管理が難しいということと、年間を通して手入れをしていかなければならない問題と。肥満云々ということも、芝だけでは肥満解消にならないので、できるだけ子供たちに運動する機会を大いに与える。また、芝のある一定の面積があれば、先生方とのふれあい、子供同士のふれあいなどなど、いっぱい効果的なものはあるということは、今、町長さんのほうからもお話がありましたけれども、お金もかかることだし、場所等のこともある。あるいは学校であるわけですから、学校のほうとも協議しながら、可能であれば前向きに検討してまいりたいなと、こう思っております。

以上です。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論ありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第1号平成21年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第5号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第19 議案第2号

○議長（田中正樹君） 日程第19 議案第2号平成21年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

2番。

○2番（佐々木寿夫君） 7ページの療養費負担金等についてお話ししたいと思います。

というのは、きのう国保税が高いという町民の声があるということから、1世帯平均16万円とか、1人当たり8万円とか、こういうふうなデータを出してもらい、さらにきのうは大変面倒な計算をしていただきましたが、国民健康保険税の給与収入にあわせて大体どれぐらいの収入になるかということが出ております。350万の収入であれば、36万7,000円の掛金ということで、10%以上の掛金になるわけです。このほかに、病院に行けば病院代が3割負担、胃カメラを飲めば万金になると、こういうふうな負担がかかる。そして、その上、去年の10月からは、65歳以上のお年寄りはこの国保税が年金から天引きされるようになってきているのですよね。今までは介護保険料だけだったのですが、今度は年金から国保税も天引きされるために、国民年金に頼っているお年寄りの方は本当に少なくなったという感じを持っているのです。

さらに町民税だ、県民税だ、税金を取られるわけですから、だから私は何としてもこの負担金を少なくする必要があります。そのために、8ページ10款の一般会計からの繰入金当初予算よりも2,700万円余りも少なくなっていると。この辺はなかなか納得がいかないところなのですよね。だから、これはどうしてこういうふうな2,700万円も減ることになったのかということをお伺いしたいと思います。

○議長（田中正樹君） 町民課長。

○町民課長（澤田康曜君） お答えします。

歳入の部分ですけれども、補正額が511万9,000円の減額になっているわけですが、これは本年1月29日に変更申請ということで減額が各々の項目の歳入の減というふうになっております。

また、5款の療養給付費等交付金のところの3,368万4,000円の減額ですけれども、これも支払基金からの減額ということで、去年の12月4日、支払基金からの変更決定通知ということで減額になっております。

いずれにしても、制度的に後期高齢者が20年度に創設された中で、最終的に国の補助率、国保分は34%ということになっておりますけれども、財政上なかなか厳しい状況も今ある状況になっているのが現実でございます。

ただ、2月25日、青森市で国保税の担当会議がありましたけれども、国のほうの動向では22年度の国保税の見直し案と内容ということで打ち出ししている内容があります。

この内容をかいつまんでお話ししますと、国保税の基盤安定強化策としての延長、これは25年度までに4年間継続して延長するという内容とか、あと、各市町村における国保税のあり方、税の算定の内容ですけれども、今現在、税の付加の権限は所得において7割、5割、2割軽減がかかっております。これを市町村の判断で、6割とか4割とかそういうふうな軽減の設定等も可能にするという内容も出ております。

ただ、いずれにしても各市町村、うちのほうの保険者としても財政的のことも考慮した中でありまして、やはり税の高額といいますか、まずは上げるのは非常に厳しい状況があると。これは被保険者の方にも苦しい状況があるということで、御指摘がありました一般会計からの繰り入れ等々も勘案して、まずは保険税の高額とかそういう権限の対応もいろいろ注視していかなければならないのではないかなど、そのような考え方を持っていますし、町民課のほうには国保の運協もありますけれども、いろいろそういう中で検討しなければならないものではないのかなど、そのような考え方を持っています。

以上です。

○議長（田中正樹君） 2番。

○2番（佐々木寿夫君） 8ページの10款1項の一般会計からの繰入金2,700万円減っています。これはどうしてですか。

○議長（田中正樹君） 町民課長。

○町民課長（澤田康曜君） お答えします。

これは、21年12月28日に国等からの交付決定に基づきまして、国保のほうに関しては保険税の軽減分と支援分があるわけですが、その辺の目減り分が関連しまして、国保分と県分に対して、それに一般会計部分を本来は加算してこの歳入部分を見るわけですが、各々減額した経緯がなっているという、そういう状況になって減額ということになっておりました。

以上です。

○議長（田中正樹君） 2番。

○2番（佐々木寿夫君） 例えば、この2,700万円というのが減額されなければ、国保税の財政調整基金とかそういうのが少しふえますね。そうすれば、大分国保税については有利になるのではないかと思うのですが、これはどうしても減らさなければだめだったのですか。

○議長（田中正樹君） 町民課長。

○町民課長（澤田康曜君） お答えします。

税の軽減分に関しましては、県のほうから入ってきます県支出金の関係ですけれども、4分の3が県のほうから入ってきます。それから、保険者の支援分に関しましては、県のほうは基準額に対しまして4分の1、国保分は2分の1です。残り分は町負担ということになりますけれども、これはあくまでも計算数値によってこのような減額になっておるわけですが、そういう意味では減る分は基金の繰り入れも想定する状況になるわけで

すけれども、したがいまして先ほどお話ししましたとおり、基金の繰り入れをこの補正で賄いするというので、基金の繰り入れ5,588万5,000円を計上した状況になっております。

以上です。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論ありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第2号平成21年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第20 議案第3号

○議長（田中正樹君） 日程第20 議案第3号平成21年度七戸町老人保健特別会計補正予算（第3号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論ありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第3号平成21年度七戸町老人保健特別会計補正予算（第3号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第21 議案第4号

○議長（田中正樹君） 日程第21 議案第4号平成21年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論ありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第4号平成21年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第22 議案第5号

○議長（田中正樹君） 日程第22 議案第5号平成21年度七戸町介護保険特別会計補正予算（第4号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論ありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第5号平成21年度七戸町介護保険特別会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第23 議案第6号

○議長（田中正樹君） 日程第23 議案第6号平成21年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）を議題とします。

初めに、12月定例会の積み残しがありますので、健康福祉課長から説明をお願いいたします。

健康福祉課長。

○健康福祉課長（田中順一君） それでは、介護サービス事業における事案調査の関係でございますが、介護サービス事業における事案調査については、12月定例議会において口頭にて回答いたしました。また、次回の議会、3月定例議会でございますが、紙ベースで報告書を配付しますと回答いたしてございます。

報告書は、お手元に配付しました議案第6号参考資料のとおりでございます。

なお、この紙から個人が特定されることが懸念されることから、性別、年代、聞き取り調査月日等は不記載としてございますので、御了承をお願いします。

また、事案概要、調査結果等の内容につきましては、12月定例議会において口頭にて回答しました内容と同じものとなっております。

以上でございます。

○議長（田中正樹君） これより、質疑に入ります。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論ありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第6号平成21年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第24 議案第7号

○議長（田中正樹君） 日程第24 議案第7号平成21年度七戸町七戸霊園事業特別会

計補正予算（第2号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論ありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第7号平成21年度七戸町七戸霊園事業特別会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第25 議案第8号

○議長（田中正樹君） 日程第25 議案第8号平成21年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論ありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第8号平成21年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第26 議案第9号

○議長（田中正樹君） 日程第26 議案第9号平成21年度七戸町水道事業会計補正予算（第4号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

水道会計全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論ありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第9号平成21年度七戸町水道事業会計補正予算（第4号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第27 議案第10号から議案第19号

○議長（田中正樹君） 日程第27 議案第10号平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計予算から議案第19号平成22年度七戸町水道事業会計予算までの予算案10件を一括議題とします。

本件10件につきましては、去る3月2日の本会議において審査付託してありましたが、予算特別委員会より審査の報告書が議長のもとに提出されております。

予算審査特別委員長の報告を求めます。

予算審査特別委員長。

○予算審査特別委員長（白石 洋君） 審査の結果を御報告いたします。

去る3月2日の本会議において、議長を除く全議員による予算審査特別委員会が設置され、付託されました平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計予算から平成22年度七戸町水道事業会計予算までの10議案について、慎重審査の結果、お手元に配付いたしました委員会審査報告書のとおり、全議案原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告いたしますが、議員各位におかれましては全会一致で御賛同いただきますようお願い申し上げまして、御報告といたします。

○議長（田中正樹君） これで、予算審査特別委員長の報告を終わります。

初めに、議案第10号平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計予算を議題とします。

お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、可決すべきものです。

委員長報告のとおり、可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第10号平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計予算は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第11号平成22年度七戸町国民健康保険特別会計予算を議題とします。

お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、可決すべきものです。

委員長報告のとおり、可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第11号平成22年度七戸町国民健康保険特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第12号平成22年度七戸町老人保健特別会計予算を議題とします。

お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、可決すべきものです。

委員長報告のとおり、可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第12号平成22年度七戸町老人保健特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第13号平成22年度七戸町後期高齢者医療特別会計予算を議題とします。
お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、可決すべきものです。

委員長報告のとおり、可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第13号平成22年度七戸町後期高齢者医療特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第14号平成22年度七戸町介護保険特別会計予算を議題とします。
お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、可決すべきものです。

委員長報告のとおり、可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第14号平成22年度七戸町介護保険特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第15号平成22年度七戸町介護サービス事業特別会計予算を議題とします。
お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、可決すべきものです。

委員長報告のとおり、可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第15号平成22年度七戸町介護サービス事業特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第16号平成22年度七戸町七戸霊園事業特別会計予算を議題とします。

お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、可決すべきものです。

委員長報告のとおり、可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第16号平成22年度七戸町七戸霊園事業特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第17号平成22年度七戸町公共下水道事業特別会計予算を議題とします。

お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、可決すべきものです。

委員長報告のとおり、可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第17号平成22年度七戸町公共下水道事業特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第18号平成22年度七戸町農業集落排水事業特別会計予算を議題とします。

お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、可決すべきものです。

委員長報告のとおり、可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第18号平成22年度七戸町農業集落排水事業特別会計予算は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第19号平成22年度七戸町水道事業会計予算を議題とします。

お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、可決すべきものです。

委員長報告のとおり、可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第19号平成22年度七戸町水道事業会計予算は、原案のとおり可決されました。

○日程第28 議案第38号

○議長（田中正樹君） 日程第28 議案第38号教育委員会委員の任命につき同意を求めることについてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論ありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第38号教育委員会委員の任命につき同意を求めることについては、原案のとおり同意することに決定しました。

○日程第29 報告第1号

○議長(田中正樹君) 日程第29 報告第1号平成22年度七戸町土地開発公社予算についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

予算全般にわたり発言を許します。

16番。

○16番(白石 洋君) 中身についてはこれでよしとするのですが、町長、どうでしょうか、この土地開発公社というのは他の町村でも見受けられるようでございますけれども、かつての時代のような土地開発公社が町にとって陰に陽に役割を果たしてきた部分があるわけですが、しかし、今日ここまで来ますと、この土地開発公社の存在というのは特に必要なかどうか、そう思っているわけです。

ですから、実際の公社の中身の問題については、それなりにしかるべきときが来たら私は廃止する方向で考えていってもいいのではないかと、そういうふうに思っていますし、特に出資金と称されるこの資本金の500万円も、ただこの中で眠っているわけですから、そうしたものを考えるとそういうふうにしていただきたいなと思っておりますが、町長の考えをひとつお聞かせ願えればと思います。

○議長(田中正樹君) 町長。

○町長(小又 勉君) お答えいたします。

土地開発公社の役割については、今までいろいろな形で、よく先行取得ということで大きい役割を果たしてきたと思います。もちろん安易にこれを利用した悪い例というもの、他には見られるものもあります。

基本的には、ほぼ役割は終えたというふうに思っていますけれども、今、会議をにらんで、もうちょっと様子を見て、持っている本来の機能自体が大体要らないという見通しになれば廃止をしていきたいと、そういうふうに思っていますので、もう少し状況の把握ということでお願いしたいと思います。

○議長（田中正樹君） 開発公社理事長。

○開発公社理事長（大平 均君） 理事会では22年度中にこの状況を調べながら、また、先行取得の計画なり、それからどういう役割を果たすかということを検討して、22年度中にという方向でやればということを検討することになっております。

以上です。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

以上で、報告第1号平成22年度七戸町土地開発公社予算についての報告を終わります。

○日程第30 陳情第5号及び日程第31 発議第1号

○議長（田中正樹君） 日程第30 陳情第5号法務局職員の増員に関する陳情書及び日程第31 発議第1号行政サービス向上のため法務局の増員を求める意見書（案）の提出についての2件を一括議題とします。

なお、受理した陳情書は、お手元に配付した陳情書文書表のとおりです。

お諮りします。

本件2件については、提出者の説明、質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、本件2件については、提出者の説明、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより、本件2件の採決を行います。

陳情第5号は採択とし、発議第1号は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、陳情第5号法務局職員の増員に関する陳情書については採択とし、発議第1号行政サービス向上のため法務局職員の増員を求める意見書（案）の提出については原案のとおり可決されました。

○日程第32 発議第2号

○議長（田中正樹君） 日程第32 発議第2号七戸町議会委員会条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

お諮りします。

本件については、お手元に配付したとおりですので、提出者の説明、質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、提出者の説明、質疑、討論は省略することに決定しました。

これより、本件について採決します。

本件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、発議第2号七戸町議会委員会条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○日程第33 議案第21号

○議長（田中正樹君） 日程第33 議案第21号七戸町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第21号七戸町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

○閉会宣告

○議長（田中正樹君） 以上で、今期定例会に付議された事件はすべて議了いたしました。

なお、陳情第1号及び陳情第2号は、お手元に配付の陳情文書表のとおり資料配付とします。

これをもって、平成22年第1回七戸町議会定例会を閉会します。

御苦労さまでした。

閉会 午後 1時54分

以上の会議録は、事務局長小林広一の記載したものであるが、内容に相違ないことを証明するため、ここに署名する。

平成22年3月12日

上北郡七戸町議会議長

議員

議員